

川口市立医療センター経営改革プラン2021-2023 令和3年度評価結果

■病院全体の戦略に係わる重要評価指標

No	評価指標	R2(実績)	R3(計画)	年間実績	計画値対比	達成状況	年間評価(分析・今後の取組)	R4(計画)
第1章1.6								
1	ベッド回転率(人/床/月)	2.69	2.90	2.85	▲ 0.05	×	○分析 ・クリニカルパスの活用促進や、長期化の傾向が見られる診療科等に対する日常的なアプローチなど早期退院促進の結果、在院日数は、一定の水準を維持しているが、一部の患者の在院日数が長期化している。 ・新入院患者数が計画値に未達であったことが影響。 ○今後の取組 ・クリニカルパスの適用率を上げ効率的なベッドコントロールを実施する。 ・救急紹介ホットライン患者の受入や地域医療機関との連携強化を図り紹介患者数を増やす。	2.83
2	入院単価(円)	75,312	75,000	77,673	2,673	○	○分析 ・新型コロナウイルス感染症患者の対応による特例加算及び特定入院料算定による増収が影響している。 ○今後の取組 ・新型コロナウイルス感染症患者の対応時の特例加算の算定を継続する。 ・早期退院促進により入院期間の適正化を図る。 ・救急紹介ホットライン患者の受入や地域医療機関との連携強化を図り紹介患者数を増やす。	76,399
3	DPC医療機関群	標準病院群	標準病院群	—	—	—	○分析 ・新型コロナウイルス感染症の影響で病床数が制限されたことなどにより、重症度の高い新規紹介患者の受入が減少したため、手術の難しさを数値化した外保連手術指数などが基準値に達しなかった。 ○今後の取組 ・紹介患者を増やし、重症度の高い新規紹介患者を獲得する。 ・手術室の効率的な運用により手術件数を増やす。	特定病院群
4	新入院患者数(人)	11,721	13,972	12,095	▲ 1,877	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染症疑い患者の増加に伴う病床数の制限実施により、ベッド満床による入院患者の断り件数が増加したことから、計画値に未達。 ○今後の取組 ・救急紹介ホットライン患者の受入強化。 ・新型コロナウイルス感染症の流行状況に注視しつつ、重症度の高い患者を増やすため、訪問活動や地域連携推進懇話会の開催等地域医療機関との連携強化を図る。 ・救急ワークステーションの設置等救急受入体制の推進。	14,283
5	経常収支	黒字	黒字	黒字	達成	○	○分析 ・新型コロナウイルス感染症及びワクチン接種対応による補助金等の受入によるもの。 ○今後の取組 ・各指標の達成を目標に適正な収益を確保し継続的な黒字経営を達成する。	黒字

■各部門の戦略に係わる重要評価指標(重複する上記重要評価指標を除く)

No	評価指標	R2(実績)	R3(計画)	年間実績	計画値対比	達成状況	年間評価(分析・今後の取組)	R4(計画)
□スタッフ 第2章2.1.1・2.2.1・2.3.1・2.4.1								
6	DPCⅢ・Ⅲ超え入院患者割合	26.2%	25.0%	25.7%	0.7%	×	○分析 ・クリニカルパスの活用促進や、長期化の傾向が見られる診療科等に対する日常的なアプローチなど早期退院促進の結果、在院日数は、一定の水準を維持しているが、一部の患者の在院日数が長期化している。 ○今後の取組 ・クリニカルパスの適用率を上げ効率的なベッドコントロールを実施する。 ・早期退院促進により入院期間の適正化を図る。	25.0%
7	多職種によるチーム活動数	14	14	14	達成	○	○分析 ・必要なチーム医療を提供できた。 ○今後の取組 ・診療報酬加算や施設基準を考慮し、今後もチーム活動を継続していく。	15
8	病棟の看護師配置(7対1)	必要数配置	必要数配置	必要数配置	達成	○	○分析 ・看護師配置7対1の要件は計画通りに維持しているものの、新型コロナウイルス感染症患者の対応への看護師の集中配置により、一時的に一般病棟の閉鎖を余儀なくされた。 ○今後の取組 ・全病棟稼働のために看護師の定数(535人)確保に努める。 ・部署別必要看護師数の精査及び月次の管理徹底。	必要数配置

No	評価指標	R2(実績)	R3(計画)	年間実績	計画値対比	達成状況	年間評価(分析・今後の取組)	R4(計画)
9	病棟の看護師配置(夜間12対1)	10か月配置	6か月配置	12か月配置	達成	○	○分析 ・看護師配置7対1の要件は計画通りに維持しているものの、新型コロナウイルス感染症患者の対応への看護師の集中配置により、一時的に一般病棟の閉鎖を余儀なくされた。 ○今後の取組 ・看護師の定数(535人)確保に努め、引き続き常時配置状況を確認し、要件の維持に努める。	10か月配置
10	常勤職員数(人)	824	定数確保	849	▲ 35	×	○分析 ・定数(884人)に対し35人未達となった。 ○今後の取組 ・医師確保のため、大学病院の医局と緊密な連携を図る。また、看護師の確保に努める。	定数確保
11	医師事務作業補助者配置(人)	18	20	19	▲ 1	×	○分析 ・計画値に対し1人未達であるが、職員募集に対して応募数が下回ったため、採用に至らなかった。 ○今後の取組 ・学校訪問等による積極的な採用活動。 ・医師のタスクシフティングを担うために必要なスキルの向上を図る教育システムの推進。 ・タスクシフティング推進に向けた各種外来業務の明確化・標準化を図る。	26
□機能 第2章2.1.2・2.2.2・2.3.2・2.4.2								
12	紹介患者数(人)	13,565	16,384	15,202	▲ 1,182	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、積極的な紹介患者獲得のための地域医療機関への訪問などが展開できていない。 ○今後の取組 ・救急紹介ホットライン患者の受入強化。 ・新型コロナウイルス感染症の流行状況に注視しつつ、重症度の高い患者を増やすため、訪問活動や地域連携推進懇話会の開催等地域医療機関との連携強化を図る。	17,584
13	手術件数(件)	5,332	6,500	5,401	▲ 1,099	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染症の影響で病床数が制限されたことにより、眼科等の手術件数が減少した。 ○今後の取組 ・診療科ごとに決められている予約枠の見直し等手術室の運用の効率化。 ・救急紹介ホットライン患者の受入や地域医療機関との連携強化を図り紹介患者数を増やす。	6,500
14	入院時支援加算算定数(件)	689	1,663	848	▲ 815	×	○分析 ・令和2年度と比較し算定件数を伸ばしているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、算定に必要な人員の確保に苦慮した。 ○今後の取組 ・入院時支援加算1の算定拡大に向けて、人員体制強化及び予定入院対象診療科増の推進。	1,915
15	ISO15189の認定	一部認定	全分野認定	全分野認定	達成	○	○分析 ・国際標準検査管理加算を取得し、増収につながった。 ○今後の取組 ・精度管理を徹底し、必要に応じ機器やソフトウェアを適宜更新していく。	全分野認定
16	特定看護師数(人)	1	3	2	▲ 1	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染症への対応により、資格取得のための人員を派遣することが困難であったため、計画値に未達。 ○今後の取組 ・専門スタッフを育成する教育環境及び意識の醸成、資格取得のための派遣が可能な人員体制を構築し人選を進める。	5
□経営 第2章2.1.3・2.2.3・2.3.3・2.4.3								
17	診療支援に係わる出来高収益(百万円)	2,780	2,426	2,873	447	○	○分析 ・新型コロナウイルス感染症患者の対応による特例加算及び特定入院料算定による増収が大きく影響。 ○今後の取組 ・診療支援部門である薬剤部、臨床工学科、臨床栄養科等で、患者指導や機器管理を確実に実施することにより算定可能な指導料や管理料を取得する。	2,469
18	急性期一般入院料1算定	常時算定	常時算定	常時算定	達成	○	○分析 ・看護師配置7対1の要件は計画通りに維持しているものの、新型コロナウイルス感染症患者の対応への看護師の集中配置により、一時的に一般病棟の閉鎖を余儀なくされた。 ○今後の取組 ・全病棟稼働のために看護師の定数(535人)確保に努める。 ・部署別必要看護師数の精査及び月次の管理徹底。	常時算定

No	評価指標	R2(実績)	R3(計画)	年間実績	計画値対比	達成状況	年間評価(分析・今後の取組)	R4(計画)
19	看護職員夜間12対1配置加算1算定	10か月算定	6か月算定	常時算定	達成	○	○分析 ・年間においては全てで月で算定。 ○今後の取組 ・看護師の定数(535人)確保に努め、引き続き常時配置状況を確認し、要件の維持に努める。	10か月算定
20	医業収益(百万円)	16,135	18,049	16,645	▲1,404	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染症対応による影響。 ○今後の取組 ・早期退院促進による入院期間の適正化や地域医療機関との連携を強化する等入院単価を向上させるとともに新規患者の獲得に努める。 ・手術室の効率的な運用により手術件数を増やす。	18,358

■事業計画に係わる重要評価指標(重複する上記重要評価指標を除く)

No	評価指標	R2(実績)	R3(計画)	年間実績	計画値対比	達成状況	年間評価(分析・今後の取組)	R4(計画)
第3章3.1・3.2・3.3・3.4・3.5・3.6								
21	川口市医師会等に占める登録医割合	40.0%	50.0%	47.2%	▲2.8%	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、新規開院の医療機関への訪問以外は登録促進のための十分な訪問活動ができなかった。 ○今後の取組 ・登録医の有無にかかわらず救急紹介ホットラインの患者紹介受入を引き続き実施。 ・未登録の医療機関から患者紹介を受けた際には、その都度、登録医療機関としての受諾依頼を実施。 ・救急紹介ホットラインの断り縮減。 ・新型コロナウイルス感染症の流行状況に注視しつつ、訪問活動や地域連携推進懇話会の開催等地域医療機関との連携強化。 ・登録医参加に対するメリットを周知し医療機関との連携を深める。	55.0%
22	紹介率(地域医療支援病院)	87.6%	90.0%	88.1%	▲1.9%	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、積極的な紹介患者獲得のための地域医療機関への訪問などが展開できていない。 ○今後の取組 ・救急紹介ホットライン患者の受入強化。 ・新型コロナウイルス感染症の流行状況に注視しつつ、重症度の高い患者を増やすため、訪問活動や地域連携推進懇話会の開催等地域医療機関との連携強化を図る。	90.0%
23	逆紹介率(地域医療支援病院)	81.3%	84.0%	81.2%	▲2.8%	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染症の影響により地域開業医等への逆紹介促進が困難なケースもあり、計画値に未達。 ○今後の取組 ・新型コロナウイルス感染症の流行状況に注視しつつ、訪問活動や地域連携推進懇話会の開催等地域医療機関との連携強化。 ・慢性患者等の適正な逆紹介の推進。 ・医師事務作業補助者を適正に配置し、書類作成業務等の医師業務のタスクシフティングを推進する。	85.0%
24	救急車受入数(件)	6,575	7,402	7,290	▲112	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染症疑い患者の増加に伴う病床数の制限実施により、ベッド満床による入院患者の断り件数が増加した。	7,402
25	二次救急の応需率	67.7%	75.0%	60.4%	▲14.6%	×	○今後の取組 ・救急ワークステーションの設置等救急受入体制の推進。 ・早期退院促進によりベッド満床による断りを減らす。	75.0%
26	救急搬送患者の入院率	51.9%	51.0%	51.5%	0.5%	○		53.0%
27	院内トリアージ実施体制	未整備	計画	計画	達成	○	○分析 ・令和4年度からの実施に向けて体制を整備。 ○今後の取組 ・体制が整い令和4年より院内トリアージ実施予定。引き続き、トリアージナースの育成に努める。	整備
28	緩和ケア病棟の設置(床)	準備	18	整備中	未達成	×	○分析 ・7階A病棟部西側の個室化改修は実施したものの、その後の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、工事時期が延長、かつ、当該病棟が感染症対応病棟となっていることから、緩和ケア病棟としての整備は未達。 ○今後の取組 令和4年5月より、多目的ホール及びナースセンターの改修を実施しており、令和4年9月までの整備を目指している。緩和ケア病棟としての稼働は、12月開始を目標としている。	18
29	無菌治療室の増床(床)	9	9	9	達成	○	—	9

■主要指標(重複する上記重要評価指標を除く)

No	評価指標	R2(実績)	R3(計画)	年間実績	計画値対比	達成状況	年間評価(分析・今後の取組)	R4(計画)
第4章4.2								
30	入院患者数(人)	144,461	160,693	141,612	▲ 19,081	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染症疑い患者の増加に伴う病床数の制限実施により、ベッド満床による入院患者の断り件数が増加し、入院患者数・病床利用率が減少した。(主に救命救急センター・整形外科で患者数が減少)	167,663
31	病床利用率(退院含む)	73.4%	86.3%	72.0%	▲ 14.3%	×	○今後の取組 ・全病床稼働に向けた看護師の適正配置。 ・救急紹介ホットライン患者の受入強化。 ・新型コロナウイルス感染症の流行状況に注視しつつ、重症度の高い患者を増やすため、訪問活動や地域連携推進懇話会の開催等地域医療機関との連携強化を図る。 ・救急ワークステーションの設置等救急受入体制の推進。	90.1%
32	病床利用率(退院除く)	67.5%	78.8%	65.8%	▲ 13.0%	×		82.4%
33	退院患者数(人)	11,744	13,980	12,136	▲ 1,844	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染症疑い患者の増加に伴う病床数の制限実施により、ベッド満床による入院患者の断り件数が増加し、入院患者数の減少に伴い、退院患者数が減少した。 ○今後の取組 ・地域医療機関との連携強化を図り、円滑な転院調整等による早期退院を促進する。 ・クリニカルパスの適用率を上げ効率的なベッドコントロールを実施する。	14,291
34	平均在院日数(日)	11.3	10.5	10.7	0.2	×	○分析 ・平均在院日数短縮の取組により、日数は短縮傾向であるが計画値に未達。 ○今後の取組 ・地域医療機関との連携強化を図り、円滑な転院調整等による早期退院を促進する。 ・クリニカルパスの適用率を上げ効率的なベッドコントロールを実施する。	10.7
35	緩和ケア病棟の利用率	—	43.6%	—	—	—	—	75.0%
36	緩和ケア病棟の入院単価(円)	—	52,070	—	—	—	—	52,070
37	外来患者数(人)	259,396	269,807	274,888	5,081	○	○分析 ・新型コロナウイルス感染防止対策として処方日数の増による外来診療間隔の延長など外来受診制限を実施したものの重症度の高い患者の増により、再診患者が増えたことから、計画値に達している。 ・診療科別では小児科の患者数が増加傾向にあり、回復基調に寄与している。 ○今後の取組 ・地域連携活動による紹介患者や救急患者などを中心とした患者の確保。 ・処方期間の正常化による治療経過確認頻度を増やす。 ・救急紹介ホットライン患者の受入強化。	269,712
38	外来単価(円)	16,329	16,945	16,214	▲ 731	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染防止対策として処方日数の増による外来診療間隔の延長など外来受診制限を実施するとともにかかりつけ医への逆紹介を推進し、紹介患者数は増加したが、外来単価は前年度より下がった。 ○今後の取組 ・精密な経過観察が終了した患者の逆紹介推進。 ・新型コロナウイルス感染症の流行状況に注視しつつ、地域医療機関との連携強化を図り、専門的な治療や検査が必要な重症度の高い患者の集患。 ・救急紹介ホットライン患者の受入や地域医療機関との連携強化を図り紹介患者数を増やす。	17,004